

JAの自己改革に関する組合員アンケート 集計結果ご報告

JA 金沢中央では組合員・地域の皆さまに必要とされるJAであり続けるため、「農業者所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標に「JA自己改革」に尽力しています。そこで組合員の皆さまの声を今後の取り組みに反映するために、昨年度下半期に全組合員対象としたアンケートを、あわせて「組合員の声を聴く活動」を実施いたしました。お忙しい中アンケートにご協力いただきました組合員の皆さまに改めてお礼を申し上げます。

このたび全国農業協同組合中央会より集計結果が届きましたのでご報告いたします。

お寄せいただいた貴重なご意見を今後の「JA自己改革」に活用する所存ですので、今後ともJA金沢中央に対し、ご理解ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。
令和元年 11月

1. JA金沢中央のアンケート基本情報

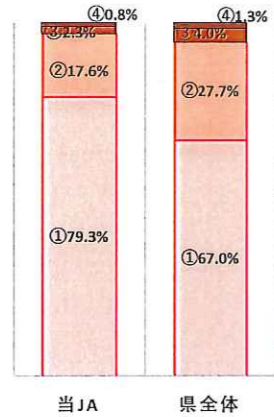
- 実施期間…平成30年11月15日～平成31年3月15日
- 取得方法…JA役職員と(株)アクティブ中央サービス社員による直接訪問、もしくは郵送
- 対象者…平成30年8月末を基準とした組合員4,288名(個人・法人)
- 取得数…3,416名(個人・法人)全体の79.7%
- その他…このアンケートは全国のJAで全組合員対象(およそ480万名)に実施しています。全国の結果は令和2年5月ごろ公表予定です。

2. アンケート結果(抜粋)

【JAの総合事業】

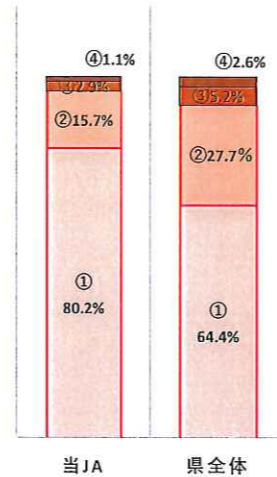
◆JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だと感じになりますか？(正・准対象)

- 必要な存在だと感じる
- どちらかといえば、必要な存在だと感じる
- どちらかといえば、必要な存在だと感じない
- 必要な存在だと感じない



◆JAは農業関連事業の他に信用事業・共済事業など様々な事業を行っていますが、このJAの総合事業についてどのようにお考えになりますか？(正・准対象)

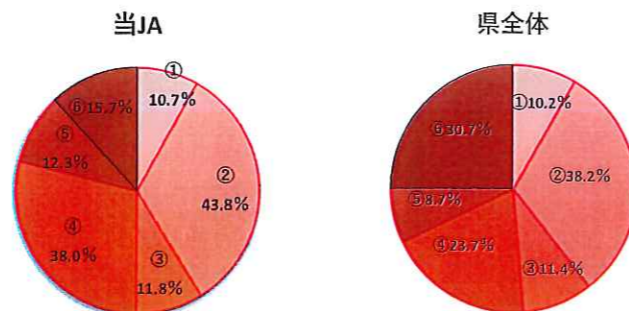
- 総合事業は継続すべき
- どちらかといえば、総合事業は継続すべき
- どちらかといえば、農業関連事業のみに特化すべき
- 農業関連事業に特化すべき



【自己改革の認知度】

あなたのJAは「農業者所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」などを目標に地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。こうしたJAの取り組みをご存じですか？(正・准対象) *複数回答可のため、合計値が100%を超えます。

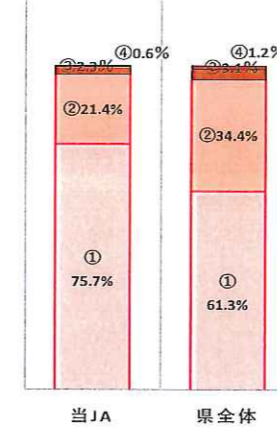
- 総代会、集落座談会、生産部会の会合で知った
- パンフレット、広報誌、新聞、テレビ、ホームページで知った
- イベント(JAまつり、ローン相談会など)やファーマーズマーケットで知った
- JA職員から聞いた
- そのほかの方法で知った
- 全く知らない



【准組合員制度】

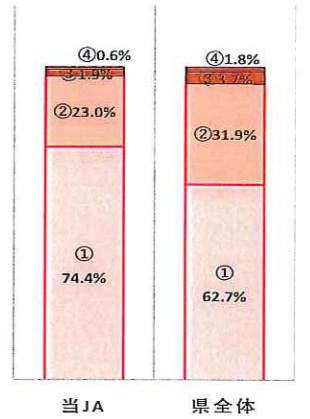
◆JAの事業を利用したり、地域の農産物を食べることで、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いませんか？(准対象)

- 応援したいと思う
- どちらかといえば、応援したいと思う
- どちらかといえば、応援したいと思わない
- 応援したいと思わない



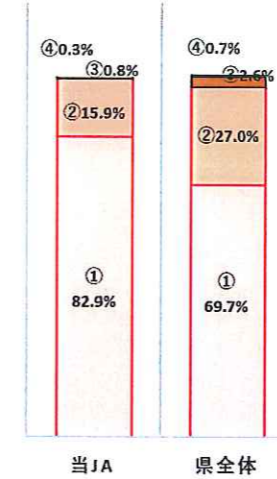
◆准組合員の事業利用は、正組合員(農業者)にとって必要だと思いますか？(正対象)

- 正組合員(農業者)にとって必要だと思う
- どちらかといえば、正組合員(農業者)にとって必要だと思う
- どちらかといえば、正組合員(農業者)にとって不要だと思う
- 正組合員(農業者)にとって不要だと思う



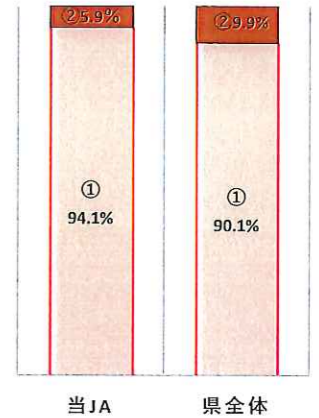
◆准組合員の事業利用は、正組合員(農業者)が利用する農業関連事業の改善を阻害していますか？(正対象)

- 阻害しているとは思わない
- どちらかといえば、阻害しているとは思わない
- どちらかといえば、阻害していると思う
- 阻害していると思う



◆准組合員のJA事業の利用が制限されることについてどうお考えですか？(正・准対象)

- 事業の利用は制限しない方がよい
- 事業の利用は制限した方がよい



3. 「組合員の声を聴く活動」でいただいたご意見(一部)

① JA本来の農業関連業務に注力し、農業者に寄り添ったJAとなってほしい。

令和元年7月に営農関連部署を集約した「アグリサポートセンター」を地域サービスセンター敷地に設立しました。農作業をはじめ農作物の生産から販売、営農指導、更に6次産業化商品への提案など、農業者の皆さまのあらゆるご相談に対応いたします。お気軽にお立ち寄りください。

② ふれあい朝市・夕市について品揃え、価格、開催日時の見直しなど改善をお願いしたい。また常設直売所の設置を希望する(消費者からのご意見)。

朝市出荷者を対象に令和元年4月に「朝市部会」を設立しました。部会では部会員の総意で開催日時を決定し、支部ごとの「目合わせ会」では出品確認のほか価格の均衡化をはかる工夫を重ね、更に消費者ニーズの把握のため部会員が朝市に立ち会うことにしました。朝市・夕市を「生産者・消費者・JAのふれあいの場」として充実させることが狙いです。また常設直売所へのニーズは非常に高いので、今後の検討課題といたします。

③ 面識の薄い顧客は優遇されない気がする。職員によって顧客対応も異なるように思う。

この度は不快な思いを抱かせたようで申し訳ありません。もちろん面識の有無で顧客対応に差をつけてはおりませんが、ご意見を受け気を引き締めて、更なる顧客満足度向上のため全職員で「CS活動」に取り組みます(H27より実践中)。